

**製品名: ARG1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82563**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARG1
別名	ARG1
遺伝子 ID	383.0
SwissProt ID	P05089
免疫原	大腸菌で発現したヒト ARG1 (AA: (1-322)) の精製組換え断片。

**背景**

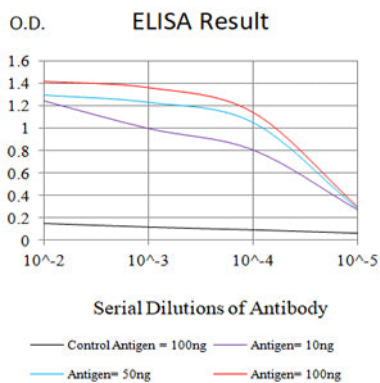
アルギナーゼは、アルギニンをオルニチンと尿素に加水分解する触媒作用を担う。哺乳類アルギナーゼには少なくとも 2つのアイソフォーム (I型とII型) が存在し、組織分布、細胞内局在、免疫学的交差反応性、および生理学的機能がそれぞれ異なる。この遺伝子

によってコードされるI型アイソフォームは細胞質酵素であり、主に肝臓で尿素回路の構成要素として発現する。この酵素の遺伝性欠損は、高アンモニア血症を特徴とする常染色体劣性疾患であるアルギニン血症を引き起こす。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2011年9月]

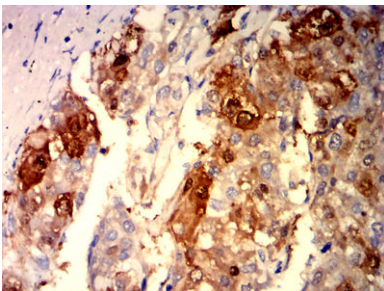
## 研究分野

-

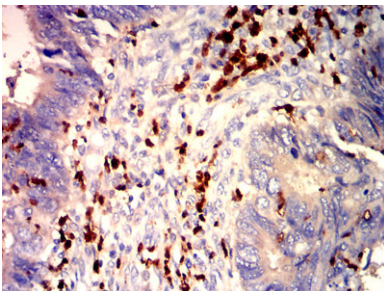
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



ARG1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



ARG1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。